

学 校 教 育 目 標

好きです中央！ ふるさとに誇りを持ち 学び合い 支え合い
ともに夢に向かって挑戦する 中央っ子の育成

育てたい3つの力⇒共感・協働できる力/粘り強く学ぶ力/自己表現できる力

夏休み明けを迎えて

夏休みが終わり、1週間ほどが経ちました。今年度の夏休みも、毎日のように暑い日が続
き、熊本県でも気温が40度を超える記録的な日もあった40日間でした。

また、7月28日に熊本を襲った震度7の地震、商業施設の爆発事故、等により甚大な被
害が発生し、多くの方が被災されています。保護者の皆様やご家族、ご親戚、お知り合いの
方、勤務先など、被害にあわれた方もいらっしゃるのではないかと思います。被災された皆
様に心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

そんな中、まだまだ暑い日が続いておりますが、子どもたちは、早速学校モードに気持ち
を切り替え、学校生活のリズムを取り戻そうと、それぞれの教室で頑張っています。

8月27日（木）から、前期後半が始まりました。本年度は、夏休み中の転出入はなく、
4月と同じ513人で前期後半をスタートしました。久しぶりに子どもたちの笑顔が校舎に
戻ってきて、休み中静かだった学校が一気に活気づきました。やはり、子どもたちがいてこ
その学校だと改めて感じました。

「夏休み明け集会」では、甲子園を沸かせ、特に熊本のみなさんを元気づけた有明高校野
球部のみなさんの姿についての話をしました。

（前略）そんな夏休みの間、私は有明高校野球部の皆さんの活躍を試合の中継やスポー
ツニュースなどで何度もテレビで見ました。有明高校は、私たちと同じ荒尾市にある高校です
ね。今年初めて甲子園に出場し、最後まであきらめない姿で大きな感動を与えてくれまし
た。そして、熊本の皆さん、とりわけ地震で被災されたみなさんに元気と勇気を届けてくれ
たと思います。私が特に心を動かされたのは、試合の結果だけではなく。どんな苦し
い場面でも決してあきらめず、自分たちにできることを丁寧に、最後まで一生懸命やり続け
たことです。だからこそ、たくさんの方が応援し、元気と勇気をもらったのだと思います。

私は、その姿を見ながら考えました。有明高校の皆さんのように、たとえ有名人じゃなく
ても、多くの人を元気にすることができるということです。

例えば、元気なあいさつをすること。友達に優しい言葉をかけること。掃除を一生懸命す
ること。勉強で分からないことがあっても挑戦してみる。そんな一つ一つの姿が、周り
の人に元気や勇気を与えます。そして、私からみなさんに伝えたいことがあります。それ
は、「今日から、また一歩前進」ということです。（中略）

大切なのは、いきなり大きく変わる
ことではありません。

有明高校の皆さんも、一日一日の
練習を積み重ねて、大きな力を身に
付けたはず。みなさんも今日か
ら一歩前進、明日また一歩前進。こ
れを積み重ねていくことで、中央小
学校の教育目標にもある『夢に向か
って挑戦する』ことにつながりま
す。（後略）

と伝えました。[第8号に続く]
※講話に使用したスライドの1枚⇒

君たちの教室が、甲子園のグラウンドだ！

[有明高校の姿]

ボールに泥だらけで飛び込む

ベンチから大きな声で応援する

負けていても最後までバットを振る

[みんなの姿]

教室の掃除をすみずみまで
一生懸命する

元気なあいさつをして、
友達に優しい言葉をかける

勉強で分からないことがあっても、
あきらめずに挑戦する